

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	山形大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	地域特性を生かした分子疫学研究		
中核となる専攻等名	医学系研究科医学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 河田 純男 外15名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>ポストゲノム時代の最重要課題のひとつは、ゲノム情報を医学・医療に応用するトランスレーショナル・リサーチである。本プログラムの目標は、1979年より24年間に亘り継続的に実施してきた地域住民コホート研究をさらに発展させ、遺伝子多型の医学的意義を解明するための研究・教育拠点を形成することである。これによりゲノム創薬やテーラーメイド医療の基盤が構築できる。本拠点の特徴は、1) 対象住民の遺伝的多様性が極めて小さいこと、2) 追跡調査を完璧に実施可能なこと、3) 医療情報の精度が極めて高いこと、4) コホート集団の規模が大きいこと、5) 遺伝子解析の同意率が高いこと(80%以上)等である。このように世界に類を見ない地域特性を生かして、既に糖尿病とC型肝炎の疾患感受性SNPsを発見している(特許申請中)。これらの成果を基盤にして、生活習慣病等(高脂血症、高血圧、動脈硬化、脳卒中、心筋梗塞、パーキンソン病)について精度の高い「臨床データベース」とゲノムワイドの「SNPsデータベース」を構築するとともに、国内外の優れた研究機関との研究交流の推進により、優れた分子疫学研究者を養成する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>本プログラムは、各種生活習慣病の要因について、最新の手法を用いた疫学調査を実施し、それに基づいた治療方針の確立を目指すもので、長年の実績から今後の医学に資するところが大きいと判断される。検診精度の高い大規模コホート研究として発展が期待できる。</p>			